

## 令和元年度鹿児島市小・中連携研修会 報告

## 【黒神小・黒神中学校】

## 1 研究主題

極小規模校における連携の進め方について  
～ 各教科・道徳・特別活動等における連携を通して ～

## 2 主題設定の理由

黒神小学校、黒神中学校はどちらも極小規模校であり、児童・生徒はのびのびと日々の活動を行っている。小規模校の特性を生かし、両校ではこれまで、教科における共通実践や乗り入れ授業、行事の合同実施等を進めてきた。今後は更に児童・生徒数の減少が進み、これまで以上に各行事の単独実施が難しくなることが予想される。そこで、小中学校間の連携を更に深め、発達段階を考慮して行事を合同で行うことにより、児童・生徒がより活発に有意義な活動を行える環境を整えるため、上記主題を設定した。

## 3 研究の実際

## (1) 第1回小中連携研修会（令和元年6月10日）

## ① 日程

14:00	14:05	14:50	15:10	15:50	16:20	16:30
受付 (5)	授業参観 (45)	移動 (20)	全体会Ⅰ (40)	全体会Ⅱ (30)	閉会行事 (10)	

## ② 参観授業

学 年	教 科	単元名（教材名）	場 所	指 導 者
3・4年	算 数	3年 たし算とひき算 4年 いろいろな四角形	3・4年教室	竹下 佳子

## ③ 全体会（15:10～16:30） 会場 音楽室

全体会名	進 行	司 会	記 録	指 導 助 言
	氏名・所属	氏名・所属	氏名・所属	氏名・所属
I 合同作業を行う行事への取組み方 (15:10～15:50)	中野 善文 黒神小	杉岡 恵美 黒神中	竹下 佳子 黒神小	野間口 勇 黒神中
II 生徒指導に関わる小中連携の在り方 (15:50～16:20)			井上 佳昭 黒神中	駒走 正二 黒神小

## ア 授業研究

授業反省等を元に、意見交換を行った。少人数指導、複式学級指導を意識した授業展開を行ったが、指導の工夫や教材の活用法等について多くの課題が出された。



## イ 協議Ⅰ「合同作業を行う行事への取組み方」

プール掃除、大運動会、椿の実学習の進め方について前年度の反省を基に協議を行った。以下、具体的な協議内容を示す。

### 【協議内容】

#### 〈プール掃除〉

- ・ 実施日等の見直し

#### 〈大運動会〉

- ・ 地域との連携の在り方
- ・ 地域役員との連携

#### 〈椿の実学習〉

- ・ 活動内容の見直し

## エ 協議Ⅱ「生徒指導に関わる小中連携の在り方」

各校児童・生徒の学習面、生活面の現状と、抱える課題について、情報交換及び話し合いを行った。学習面では、極少数での授業における多様な考えの引き出し方、学習の姿勢や態度など、様々な課題や取組が話題になった。生活面においては、社会的経験が不足していることや整理整頓などについて情報交換が行われた。小学校、中学校それぞれの状況を把握し、よりよい指導方法について話し合うことで、とても有意義な研修になった。

(2) 第二回小中連携研修会（令和元年8月1日）

① 日程

13:00

14:30

全体会 I (90)
---------------

② 全体会

ア 秋季大運動会について

合同行事である大運動会の実施内容について協議を行った。

児童・生徒数の減少を考慮した実施競技の見直しやチーム分け・採点方法の変更などが協議内容として出された。

イ 椿の実拾いについて

昨年度の反省に基づき、椿の実拾い、販売の実施方法について協議を行った。

昨年度から土曜授業日に実拾いを行っているが、人員が少ない状態での活動になるため、今後も土曜授業日の実施で良いのか、また、事前準備はどのように行うのかなどが協議内容として出された。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・ 行事を合同で行うことで、児童・生徒は互いに刺激し合い、より活発に活動に取り組むことができていた。異年齢集団で行動することにより、他者への接し方や自分の行動の仕方などをより良く考えるよい機会にもなっていた。
- ・ 小中学校の職員間で密に連携を取り合うことで、児童生徒、保護者の様子をよくつかめ、指導に役立てることができた。
- ・ 運動会や椿油販売など各行事の事前打ち合わせがしっかりできていたため、それぞれの行事を円滑に進めることができた。

(2) 課題

- ・ 職員数の減少、職員の入れ替えにより、赴任したばかりの職員が各行事を担当することが多い。細かな引き継ぎが重要である。
- ・ 現在合同で行っている行事以外にも合同で実施することで更に有意義になる行事がないか、検討を続けていく必要がある。また、児童生徒・職員数の減少により、行事の精選も急務である。
- ・ 小学校、中学校の綿密な連携を今後も更に深めていくことで、児童生徒・職員数の減少を補い、児童生徒が活発に、のびのびと学習できる環境を整えていくことが求められている。
- ・ 運動会等の行事を小・中・地域が今後さらに連携を図りながら進めていく必要がある。